

連合福島第33回年次大会開かれる

福島の復興・創生に全力を尽くす ～安心社会に向けて私たち自身で未来を変えよう～

連合福島第33回年次大会は、10月29日福島市の福島グリーンパレスにおいて、役員・代議員など約200名が出席し開催された。新型コロナウイルス感染防止の観点から入場前の検温・消毒などを徹底、ソーシャルディスタンス確保のためサブ会場を設けるなど工夫した。更に代議員からの質疑応答事前登録制により全体時間の短縮をはかった。

冒頭、今野泰連合福島会長から『新型コロナは、グローバル社会経済の脆弱性を露呈させ、社会的孤立を深めている。働く者・生活者が犠牲者であってはならない。コロナ禍での労使交渉強化、組合の重要性と必要性は増している。また、政治を社会・経済の安定ととらえ、総選挙では1区、3区、4区の現職を推薦し、比例区では「立憲民主党」を推薦する。さらに、次世代に残す運動の財産、託すべき運動を考える組織財政の在り方の協議を進めていく。』と挨拶した。



挨拶する今野泰会長



メイン会場の代議員の様子

また、来賓として内堀雅雄県知事のビデオメッセージが披露された。経過報告については、執行部報告を賛成多数で了承し、第1号議案 『2021年度運動方針補強(案)』には、全水道・南代議員からの発言があり、執行部の見解を以て賛成多数で決定された。第2号議案 『連合福島の組織運営ならびに財政の中期方針確立に向けて(案)』第3号議案 『2020年度剰余金処分(案)』及び2021年度各種会計予算(案)第4号議案 『役員補充選出について』も賛成多数で決定された。補充役員の選出では、副会長に鈴木重一(電機連合)と福嶋智仁(ゴム連合)の両氏、副事務局長に紺野淳(私鉄総連)と谷川嘉成(電力総連)の両氏がそれぞれ選出された。

第5号議案 『第49回衆議院議員選挙の基本方針(案)』については、立憲民主党の現職で福島1区の金子恵美、3区の玄葉光一郎、4区の小熊慎司の3氏の推薦について承認された。

また、自民党などで作る参院会派入りした増子輝彦参議院議員(福島選挙区、無所属)の推薦取り消しが報告された。最後に働くための労働運動を県内全域で力強く展開するとした大会宣言を採択し、今野会長より①『職場・現場で働く仲間への激励に拍手』②『新たな運動方針・コロナの中で組合員を導く役員の方々へお互いに賞賛の拍手』③『大会の成功とさらなる連合福島運動の前進に向けた決意の拍手』の三つの拍手を出席者全員で行い第33回年次大会を終了した。



鈴木重一副会長



福嶋智仁副会長



紺野淳副事務局長



谷川嘉成副事務局